

藤波こども園

園長だより

No. 71

令和3年5月7日
文責 竹原 篤



旧 藤波幼稚園 現 藤波こども園

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、令和3年度の始業式は4月8日、3密にならないように各ホームで行いました。子どもたちは担任の先生から呼ばれると一つ上の組になったことに喜びと自覚を持って大きな声で返事をすることができました。また、月組や星組のお兄さんやお姉さんは今年度からホームの仲間になった花組さんにとても優しく関わってくれました。

本年度の入園式は予定通り4月9日にコロナ対策として、乳児・幼児の二部制で無事に行うことができました。乳児が11名、幼児が11名の22名のお友だちが入園し、全園児83名でスタートしました。



藤波こども園では入園してしばらくするとこのようなかわりが自然に生まれてきます。



花祭り

本年度の花祭りはこども園の遊戯場で行いました。はじめに、月組が理事長先生から「蜘蛛の糸」のお話を紙芝居でしていただき、みんなとても素晴らしい態度でお話を聞くことができました。その後、星組のお友だちも合流して、花御堂のお釈迦様像に手を合わせて甘茶をかけお誕生日をお祝いしました。



昨年度の『藤波こども園の教育・保育についての評価』より

評価が低かった項目として、「①子どもは、いろいろな場面にあった言葉づかいができるようになってきた。②子どもは、早寝・早起きの規則正しい生活ができている。③テレビを見たり、ゲームをしたりする時間等の約束を守っている。④子どものしつけについては、家族で話し合いみんなが守るようにしている。」がありました。

①のいろいろな場面にあった言葉づかいについては、この時期の子どもは大人の真似をして育ちます。だから、子どもに言葉を押しつけるより、日々の生活の中で身近な大人(家族や保育士)がモデルになって、場にふさわしい言葉づかいをされるとよいと思います。

②の規則正しい生活では、「起きないと朝ご飯が食べられないよ」と言うより、「夜早く寝て朝早く起きるとみんなで、一緒にご飯を食べられて、嬉しいな」と言ってみてはどうでしょうか。子どもは誰かが喜んでくれることが大好きなのでよい結果になるかもしれません。何より続けることが大切です。

③テレビを見たり、ゲームをしたりする時間については、何度言っても聞かない、止めないではなく、時間を決めて、やこの時間帯は大人も見ないやらないなど工夫し、子どもがテレビを見られない、ゲームができない環境づくりをしていくことが大切だと思います。

④子どものしつけについては、大人の思いを伝えて、謝ったり止めたりすることに意味があるのではなく、子どもが自ら謝ろうと思ったり止めようと思ったりすることが大切です。

効率的ではないかもしれませんが、また、時間がかかるかもしれませんが、子どもたちの思いをいっぱい聞いて、子どもたちに自己決定する場面を多く体験させることが子育てには大切です。

藤波こども園では、子どもさんのことで不安なことがあれば、懇談会に限らず、いつでも担任に相談してください。解決に向けて、共に話し合いながら理解を深めていきたいと思っています。

また、NHKで放送されている「子育てに悩んでいるのはあなただけじゃありません！一緒に語り合いましょう！」という内容で『うわさの保護者会』と言う番組があります。子育ての悩みについてとても参考になるとと思います。もしお時間が許せば一度見ていただければどうでしょうか。

🌸ありがとうございます🌸

【いただきました】

花まつりのお供え物（お菓子）

青柳仏教会様より

